

宝塚市議会報告

本気の力！ 市政を変える。VOL. 5

— 私たちのまちは、私たちでつくる。 —

〒665-0033 宝塚市伊子志 2 丁目 17-8-4F TEL & FAX: 0797-72-2130

Topic

- 宝塚市議会報告
- お知らせ 議会報告会
- 議員報酬自主カット継続中
- メルマガのご案内
- いとう順一プロフィール
- いとう順一とつくる会通信

この報告書の発行費用は、後援会から捻出し、政務調査費は使用していません。



無所属

宝塚市議会議員

いとう 順一

平成 24 年度 6 月議会報告①

6月議会が6月27日に閉会致しました。5月28日に開会した本議会では、専決処分への承認6件・議案25件・請願4件・決議1件・人事案件1件・意見書3件が審議されました。

主なものとしては、すみれ墓苑の公社から市直営にする件・市立病院に救急科を設置する件・老人ホーム福寿荘指定管理化の件・資源ごみの持ち去り禁止の件等でしょうか。

また、議員提出議案として提出させて頂いた、議員報酬を当初の額から20%削減する案については、否決され、結局、共産党会派を中心に提出された、現状からの5%削減案が賛成多数で可決されました。

これで、議員報酬の月額が4月に遡って563,000円ということになり、本年4月から、当初610,000円が593,000円になりましたので、結局当初の額に比べて約7.7%が削減されることになりました。

当初の額から20%削減することに対して、頑張っただけでしたが、大変残念な結果になりました。今後賛同者を増やし、少しでも実現に近づけるよう努力して参ります。

また、6月22日には、下記のテーマで持ち時間70分間の一般質問を行いました。

1. 市民協働のまちづくりを推進する組織体制について

①現状と課題について

わが市は全国他市に先駆けて、平成14年4月に「まちづくり基本条例」及び「市民参加条例」が施行されましたが、現在市民協働を施策の中心にすえている割には、本年3月、「施策調査に係る市民意識調査報告書」が発行され、そのアンケートで、年々市民の参加意欲が低下しているという残念な結果が出ました。

しかし、行政との協働の取り組みの質問では、現在行っている人が2.7%、今後行いたいとしている人が11.7%、わからないという人が68.5%と、やり方によっては、大いに可能性を秘めた結果となっています。

今後、まちづくり参加への裾野の拡大ということを超えて、今後の住民自治の姿を、想定して一つのアイデアとして提言しました。

「各部署がバラバラに市民協働の施策を行うのではなく、ポータルとなるべき部署を拡充し、そして、行政の附属機関として、現サービスステーションや地域包括センター・児童館などの各部署の施策に応じた施設が、概ね中学校区単位にあることから、中学校区を意識して、都市内分権として地域自治区を設立し、また、その拠点には、核となるべき市民や団体との意識合わせを行い、地域住民や地域のことをよく理解し、行政の施策を横断的に理解した、行政との橋渡しになれる職員の配置が必要であると考えます。

また、10年前に比べて人口が急増した地域もあるので地域住民の数などにも配慮し、現まち協や自治会などの既存の住民自治組織を核に、様々な団体や個人、企業、NPOが入って、地域協働体として機能できるように、再編していくことも視野に入れなければならないと思う。

ブログ随時更新中！ <http://jito.jp>

いとう順一の活動や考え方を、週3日～4日に一度、ブログにてお伝えしています。是非アクセスして下さい。